

こんな活動です

夏休みに体験活動！地域の方に教わりながら、一緒に楽しく学びます。

香川県三豊市

活動名

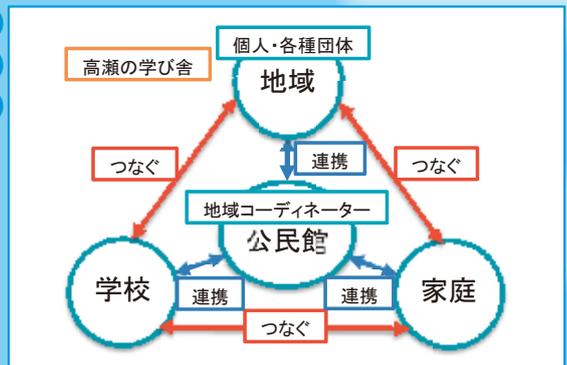
高瀬の学び舎

関係する学校名

上高瀬小学校 他4校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
		0人	1人	20人	9日	26年度	有	無	無	
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携					
		高瀬町公民館 第2会議室・調理室・講座室ほか		無	連携なし					
土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携		
コミュニティ・スクール	指定日					委員会	児童生徒数	学級数		

体制図



活動の概要
 三豊市では平成26年度より、市内3公民館にて放課後子ども教室を開設。公民館が主体となって企画運営を行っている。
 「高瀬の学び舎」は、高瀬町公民館が実施しており、三豊市高瀬町内の小学生を対象に実施している。定員を設けているが、毎年定数を越えた応募があり人気の教室となっている。夏休みの約2週間、9時から15時まで実施している。
 学校や家庭では体験できないような活動を盛り込んだ内容で、体験を通して学び、経験し、成長することができるよう、プログラムを構成している。また地域の人と一緒に学びながら交流できるよう工夫している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- ～社会性・協調性を育むしかけ～
- 町内の全小学校区から参加者を募集。校区外、異学年の児童を含めた班で活動することで校区外や異学年の児童との交流を深め、社会性や協調性を育めるようにしている。
- ～生きる力（体験から得た学び）を身につける～
- 活動内容は自分が住む地域の、歴史や文化、自然環境について学ぶもので、職場体験、茶道、登山、料理、水生生物調査等、多岐にわたっている。平成28年度は防災学習に重点を置き、日赤香川支部による災害学習プログラムを実施、また消防署見学や防災体験等、体験活動を通して、児童のこれからの人生で、活かせる学びを得られるようなプログラム作りをしている。
- ～メリハリを持って行動する～
- 夏休みの宿題等自主勉強する時間を決めている。勉強する時間、遊ぶ時間をはっきりさせることでメリハリを持った生活ができるようにしている。

【実施に当たっての工夫】

- 事故や怪我については、事前準備も含め十分に配慮しているが、保護者にも事前に理解を求めている。
- 上級生にはリーダーシップを取って下級生をサポートするように促す。
- 元気な挨拶、話を聞くときの姿勢等については、その都度指導する。
- 保護者から、支援が必要かどうか、食物アレルギーの有無、体調について事前に聞き取る。
- 刃物や火を使うような体験でも、大人はなるべく手を出さず、児童が主体的に活動できるようにし、正しい使い方や危険な行動等、体験を通して学び取ってもらえるようにしている。
- 宿題タイムでは教員OBにサポーターをお願いし、児童が自主学習に集中できるよう体制を整えている。
- 児童が自分で時間管理できるよう「何時から何を」と具体的に時間を伝え、時計を見て行動するよう促している。

● 事業を実施しての効果・成果

- 学習したことを活かして防災かるたを作成した。今後の防災学習にも活用できるものとなった。
- 他の学校の児童とも仲良くなれ、「中学生になったらまた会えるね」「今度遊ぼう」等今後の交流にもつながった。
- 児童と地域の方だけでなく保護者とも関係性ができ、学校帰りや近所で出会ったときに、挨拶をして話をするようになった等、教室時以外でも交流がみられるようになった。
- 班で活動を行ううちに、協力し、助け合って活動する姿勢がみられ、協調性や社会性の成長につながった。
- 児童や保護者から、「違う学年、学校の友達ができた」「初めての体験ができてよかった」「来年も参加したい」など好評価をいただいた。
- 「今日体験したことを報告したり、進んで料理や手伝いをするようになったりと、子供の成長がみられ、親子のコミュニケーションも増えた」という感想をいただいた。



消防署見学



防災かるた作り